

第 3 委員会報告資料

M I C E 関連施設等の検討状況について

平成 2 7 年 1 2 月
経済観光文化局

MICE関連施設等の検討状況について

1. 現在の検討状況について

- 第2期展示場などのMICE関連施設の整備については、平成27年3月に施設概要や整備の基本的な考え方を示す「福岡市MICE関連施設整備方針」を取りまとめ、民間事業者のノウハウやアイデアなどを、今後の計画づくりなどの参考とするため、平成27年3月から「ウォーターフロント地区（以下「WF地区」）の計画提案公募」を実施したところである。
- 現在、これらの提案内容や提案事業者との対話も踏まえながら、今後の事業化に向けた計画づくりや公募条件等の検討を行っているところであり、「MICE関連施設整備計画（案）」として取りまとめていく予定としている。

＜計画提案公募の結果＞ ※参考資料参照

- ・計画提案公募の受付期間：平成27年5月1日～6月30日
- ・応募状況：応募件数19件
ディベロッパー、ゼネコン、ホテル事業者、その他

2. WF地区のエントランスゾーンの一体整備について

- WF地区の再整備においては、MICE機能等の強化とあわせて、公共交通を主軸とした交通施策の展開を、初期の段階から実施することが必要であり、福岡サンパレスの用地については、公共交通の円滑な動線や乗降場の確保など、WF地区の交通体系づくりにとって不可欠である。
- 海と街をつなぐシンボリックで賑わいのある空間の創出や、MICE機能の強化と計画的な更新の観点からも重要であることから、WF地区のエントランスゾーンとして、今回、サンパレス用地も含めた一体的な整備を行うもの。



＜サンパレス用地の活用について＞

① 円滑な交通処理の実現とエントランスとなる広場の創出 （公共交通の専用動線やメインとなる乗降場、広場の確保）

- ・大博通りから直進して円滑に進入する公共交通専用動線を確保するとともに、多数の来街者が乗降し、ここを起点にWF地区を回遊するエントランスとして整備。



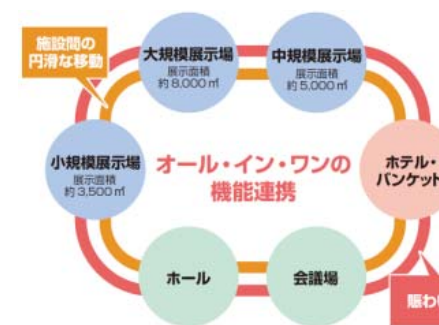
② 海と街をつなぐシンボリックで賑わいのある空間の創出 （賑わい広場や地区内動線の創出、福岡の顔となる景観の形成）

- ・賑わいを創出する広場の確保とともに、回遊の起点となる動線を確保し、周辺への回遊性を強化。
- ・また、海に向かって開かれた空間やシンボリックな建物の誘導などにより、水辺を活かした景観を創出。



③ MICE機能の強化と計画的な更新 （ホールの更新、ホテル・賑わい施設の導入）

- ・第2期展示場の西側にホールを更新するとともに、サンパレス用地にホテルや賑わい施設を誘致することで、MICE機能の利便性を向上。
- ・ホール機能を閉鎖期間なく整備することができ、持続的に「オール・イン・ワン」を実現。



■ オール・イン・ワンの概念

■ MICE・賑わいゾーンの再整備イメージ



MICE関連施設等の検討状況について

3. ホールの機能更新について

○福岡サンパレス大ホールの代替となる新ホールについては、利用ニーズや、将来に向けて果たすべき役割などを踏まえ、以下のとおり、規模（席数）を拡充することや、自由度の高いシンプルな機能のホールに更新することで検討を進めている。

(1) 新ホールの役割

①「オール・イン・ワン」の実現に不可欠なコンベンション施設としての役割

- ・他のコンベンション施設と一体的な利用により、大規模なMICEに対応

②WF地区における集客・賑わい施設としての役割

- ・コンサート等により、多くの人が来場する集客施設として、地区の賑わいを創出

(2) 施設配置

以下の観点から、**第2期展示場の西側**とする。

- ・大規模学会等における参加者の移動のしやすさを考慮し、福岡国際会議場や第2期展示場に隣接する位置
- ・コンベンションゾーンにおいて、ホール機能の一時的な欠如を招かないよう、サンパレスを運営しながら建設できる位置

＜施設配置イメージ＞



(3) 施設概要

①基本的な考え方

- ・大規模学会における式典や講演会等の開催が可能なキャパシティ（収容力）を備えたホール
- ・多様なコンサートニーズ等に対応可能なシンプルな機能のホール

②主な利用用途

- ・大規模学会の式典や講演会、企業集会 等
- ・プロモーター（興行主）によるポップス系音楽を中心としたコンサート 等

③施設規模

- ・2,500～3,000席（仮設席等での対応を含む。）

(4) 今後の予定

- 施設の利用者であるコンベンション主催者やプロモーター（興行主）などの意見を聞きながら、具体的な施設計画を検討していく。
- 「オール・イン・ワン」の実現に向け、ホテル等の民間施設も含めて、効果的な事業手法について検討していく。

【参考】

(1)サンパレス大ホールについて

ア) 施設概要

- 客席：2,322席（3層）
- 舞台：プロセニウム形式（間口20m×奥行20.5m、高さ12m） 機構：迫り、オーケストラピット
- 諸室：ロビー・ホワイエ、楽屋、練習室 等

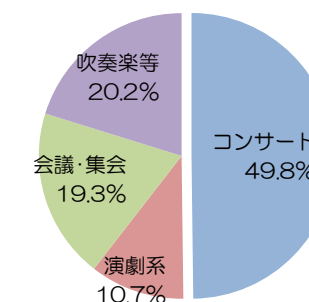
イ) 利用状況（ホール部分のみ）

	H24年度	H25年度	H26年度	平均
入場者数（人）	422,520	359,250	378,500	386,756
利用件数・日数	157件 247日	127件 194日	143件 232日	142件 224日
稼働率	72.4%	66.0%	72.5%	70.3%

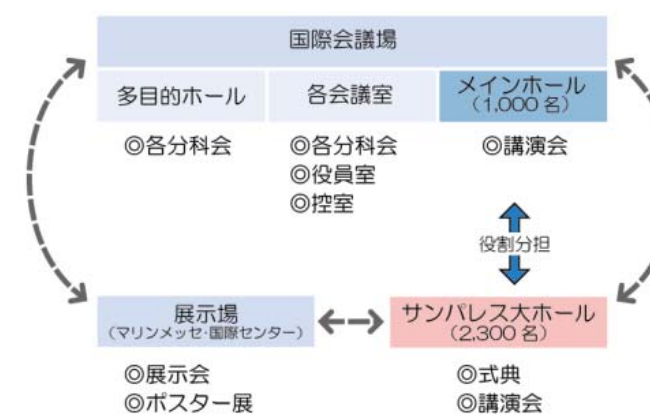
※H25年度は改修の為、ホールを1ヶ月半程度休館

※稼働率＝利用日数/利用可能日数 ※利用可能日数＝開館日数-保守点検日-工事日

＜ジャンル別内訳(H26年度)＞



ウ) MICEでの利用状況



＜サンパレス大ホールを活用した学会等の主な事例＞

- ・日本透析医学学会・総会（H25） 40,000人
- ・日本外科学会定期学術集会（H25） 13,700人
- ・日本神経学会学術大会（H26） 6,843人
- ・日本消化器内科視鏡学会総会（H26） 6,536人
- ・日本抗加齢医学会総会（H27） 5,000人
- ・日本静脈経腸栄養学会学術集会（H27予定） 12,000人

(2) 他のホール

ア) 市内の主なホール・アリーナ

大 ↑	アリーナ	音楽系	演劇系
		ヤフオクドーム (20,000～50,000人)	
		マリノメッセ福岡 (15,000人)	
		福岡国際センター (10,000人)	
規模 ↓	ホール	福岡サンパレス大ホール (2,322席)	
		アーク福岡ソフィアホール (1,867席)	
		市民会館大ホール (1,770席)	
		博多座 (1,490席)	
		キャナルシティ劇場 (1,144席)	

イ) 全国の主なホール

	施設	席数
1	東京 東京国際フォーラム	5,012
2	横浜 国立大ホール	5,002
3	千葉 幕張イベントホール	3,948
4	東京 NHKホール	3,601
5	名古屋 名古屋国際会議場	3,012
6	松山 愛媛県民文化会館	3,000
...		
15	福岡 福岡サンパレス大ホール	2,322